

7:3 ある男の陰謀



男は考えていた。

このままではまずい。毎年「不況だから」という理由で

妻に小遣いを **2200** 円ずつ減らされているのだ。

付き合いもあるし、買いたい本もある。

部下にだって奢って良い所を見せたい。

でも妻のサイフの紐は固いだろう。さて、どうするか・・・

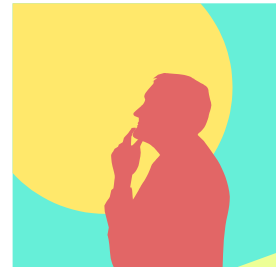
男は思いついた。

男の家庭は「小遣い」という名目で子供達の小遣いも男の小遣いもまとめて渡されるのだ。

つまり子供達の小遣いを減らせばいい。そうすれば男の取り分が増える。

しかしそう一筋縄ではいかないだろう。

子供も易々と小遣いを減らされることを承諾するわけがない。



男は考えた。

今は兄にまとめて小遣いを渡し、その中から兄弟二人のおやつ代、

そして各々の小遣いを分けている。

二人のおやつは弟がいつも買いに行く。だから弟は二人のおやつ代と

自分の小遣いを一緒にもらう。当然弟の取り分が多くなければおかしい。

しかしあの狡賢い兄のことだ。

多分おやつ代も含めて弟半分、兄半分でもらったお金を分けていることだろう。

かわいそうに弟のやつ2人のおやつを買ったらいくらも残らないだろうに。

全く兄貴にいいようにやられてる。じゃあ、それを利用してもらうとするかな。

男はじっと目を閉じその悪知恵をさらに膨らませた。

要するに弟いくら、兄いくらと決まってないんだから、

小遣い配分だけを決めてやればいい。

7:3 と。

3 が兄の取り分で、**7** がおやつ代を含めた弟の取り分。

これを言えば弟は喜ぶだろう。

7:3

でも兄はどうか？

当然取り分が今までより減るから納得しない。

だから自分が弟に渡す役目をいいことに、今まで通り半分しか渡さないはず。

ここが狙い目だ。

さてと準備は万全だな。

男は小遣い日を待って二人を呼んだ。

男 「ちょっと確認したいことがある」

兄弟 「なに？」

男 「お父さんは弟がおやつ代を含めて7、兄が3と言ったよな」

兄弟 「うん・・・」

弟 「お父さん！それがね！」

兄 「うるさい、お前は黙ってる」

「お父さんそうなんだけどね。弟がこの金額で良いっていうんだよ。
だからそうしてる」

弟 「うう・・・」

男 「そうか。わかった。じゃあ、今月の分な。はい」

兄 「???いつもより少ないよ??」

男 「だって弟に渡してるのがその金額なんだから？」

それが7なんだから、10はこの金額になるだろう」

兄 「?????どうということ??全体が減っちゃうの??」

弟 「ざまあみる。お兄ちゃんがズルするからだ」

兄 「なに！いいさ、お前の取り分をもっと減らしてやるから覚悟しろ」

弟 「そ、そんな」

兄 「へへへ。そうかこうやって弟の分を減らせば全体が減っても兄のオレは安泰だな」

男 「バカなやつめ」

男は増えた自分の小遣いを数えつつ、

「ああ、また来月も弟の取り分を兄貴が減らさないかなあ」と願うのだった。





ポイント

委託技工料（歯科技工物の料金）は公定価格ではありません。

厚生労働省は委託技工料の実勢価格を調査して、

それを7（原価）とし10（^{ほてつ}補綴の点数）を割り出しています。

つまり、委託技工料を安くすることは補綴の点数が下がることを意味し、

歯科医療者は自分で自分の首をしめていることになるのです。

このロジックに気づくことがまずは必要ではないでしょうか。

さて、さて兄弟の復讐が始まるようです・・・。

～兄弟の復讐～

兄は考えていた。

ああは言ったものの何か引っかかる。

おやつ代は減らすことが出来ないから、

自分の取り分を確保するには極限まで弟の小遣いを減らすしかない。

でも極限てどこまで？ゼロ以下はないしな。

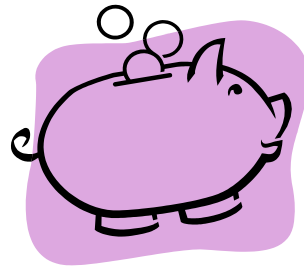
ゼロにしたら更にオレの小遣いは減るのか！？

困ったな・・・。弟も減ってオレも減る??

減った分、増えるのは誰？誰？誰？

そうか！これはお父さんの作戦だ。

どうもこれは騙されているらしい。



「お父さんの陰謀だ！」

でも待てよ。お父さんは別に「小遣いを減らす」とは言ってないな。

じゃあなんで減ったんだ？

おれが自分で減らしたのか??

そうか、考えてみればオレの小遣いも弟の小遣いも両方減ったわけだ。

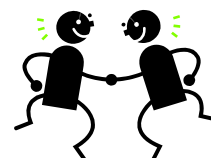
お父さんはただ「7：3」と言って、それを実行してるだけだもんな。
くぅー、うまくやられた。

「よし復讐だ」！

さて、どうやる。まずは弟の小遣いを増やさないとならないな。
でもどうやって？そうかオレが自分の取り分を少なくするしかないのか。
辛いな。やっぱりやめよう。今月は欲しい漫画の発売もあるし。
でもそれしないといつまでもこのままか。それも辛い。困った。
小学生がこんなに困っていいのか？まだ人生12年しかやってないのに。
なんだか理不尽だ。でも仕方ないか。自分で蒔いた種だもんな。

「一人で悩まず弟に相談しよう。」

考えてみればたった1人の弟だもんな。
おやつも全部弟に買いに行かせ、ずいぶん酷いこともした。
ごめんな。
二人ではじめからお父さんに「月に必要なお小遣いはこの金額です」って
ふたりでちゃんと計算して出せば良かったんだ。
そうすればこんなことにならなかった。
いや、今からでも遅くない。弟と仲直りしてお父さんに二人で言おう。
その為にはまずちゃんと弟に渡さないとな。
オレ、少し大人になれたのかな。



「これは復讐じゃないな。まともになるだけだね。」

男 「うん？なんか寒気がしたけど気のせいかな？」

2009/06/19

みんなの歯科ネットワーク

TEAM T.S.T. feat.36

